

# リーディングDXスクール事業【実践事例】

高知市立浦戸小学校（高知県）【指定校】

## 【取組内容】 児童の他者参照による学習と教師による見取り

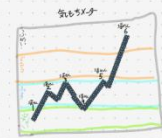
### 【学習者】

- ・解決の方法がわからない児童にとって、他者参照することで自信をもって学びに向かうことができた。
- ・自分の考えと他者の考えを比較することで、自分にはない考えを取り入れ、学習を深めることができた。

### 【指導者】

- ・児童に対し、適宜個に応じた支援や、児童同士をつなぐ声かけができた。

### 2年生 国語科「お手紙」





# リーディングDXスクール事業【実践事例】

高知市立浦戸小学校（高知県）【指定校】

## 【取組内容】 家庭での学びを授業で共有①

全学年、毎日タブレット端末を持ち帰っている。低学年はデジタルドリルによる家庭学習に加え、課題に応じたものを写真に撮ってくるなど、家庭でも1人1台端末を活用した学習に取り組んでいる。それを翌日の学習や次單元において児童が発表する際、みんなで見合うことで、学びを深めている。

### 1年生 生活科「じぶんでできるよ」



#### 【学校にて(導入)】

自分の1日と家の人の1日とを比べ、自分にできることを考え計画を立てる

#### 【家庭にて】

実際に取り組んでいることを写真で撮る

#### 【学校にて(共有)】

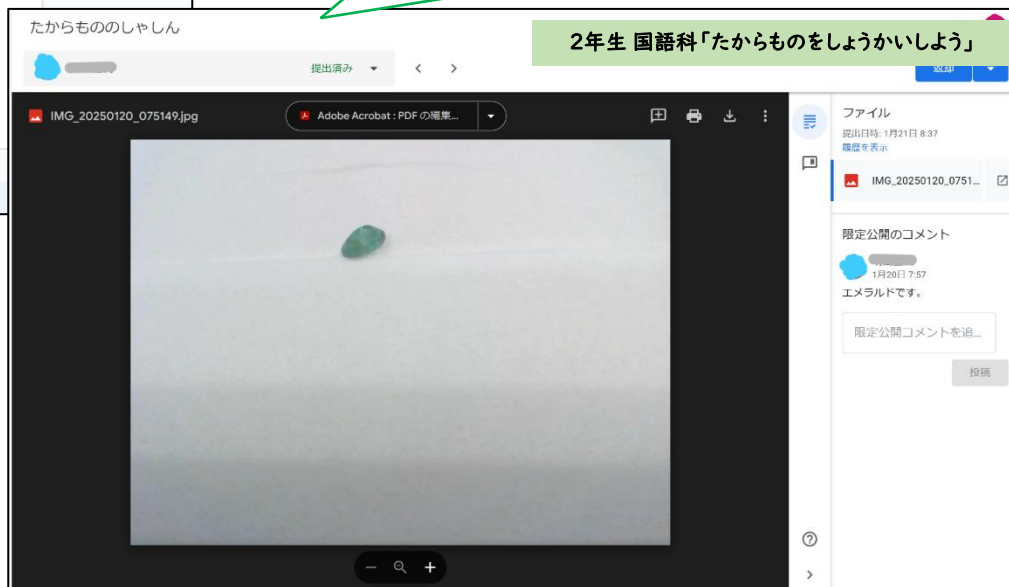
冬休みが明けてから発表

#### 【家庭にて】

宝物の写真撮ってくる

#### 【学校にて】

その宝物を紹介する文章を書いて、発表する  
→大きくて実物を持ってくることができない宝物も共有できた。また、写真を活用することで話すだけでなく、聞く側もものを想像しながら話を聞いた



### 2年生 国語科「たからものをしょうかいしよう」

# リーディングDXスクール事業【実践事例】

高知市立浦戸小学校（高知県）【指定校】

## 【取組内容】 家庭での学びを授業で共有②

中高学年はデジタルドリルによる学習に加え、「課題型持ち帰り」をおこない、授業での調べ学習等を家庭学習として取り組んでいる。持ち帰った課題を翌日の学習や次単元において児童同士が見合うことで、学びを深める時間を十分に確保することができる。

### 3年生 社会科「火事からくらしをまもる」

家で火事から身を守るためにどんなことをしているか調べよう。



#### 【家庭にて】

家庭で行っている火事に対する取組を調べる

#### 【学校にて】

「火事が起きる前の対策」と「火事が起きた後の行動」にグルーピング

→火事に対する対策が少ないことに気づき、何ができるかを考えた

#### 【家庭にて】

身近にあるユニバーサルデザインを取り入れたものの写真を撮り、機能をまとめる

#### 【学校にて】

それぞれの児童がまとめたものを共有する  
→みんなで見合うことで、一人では気付かなかった工夫を知り、学びを深めることができた

### 5年生 社会科「未来をつくり出す工業生産」



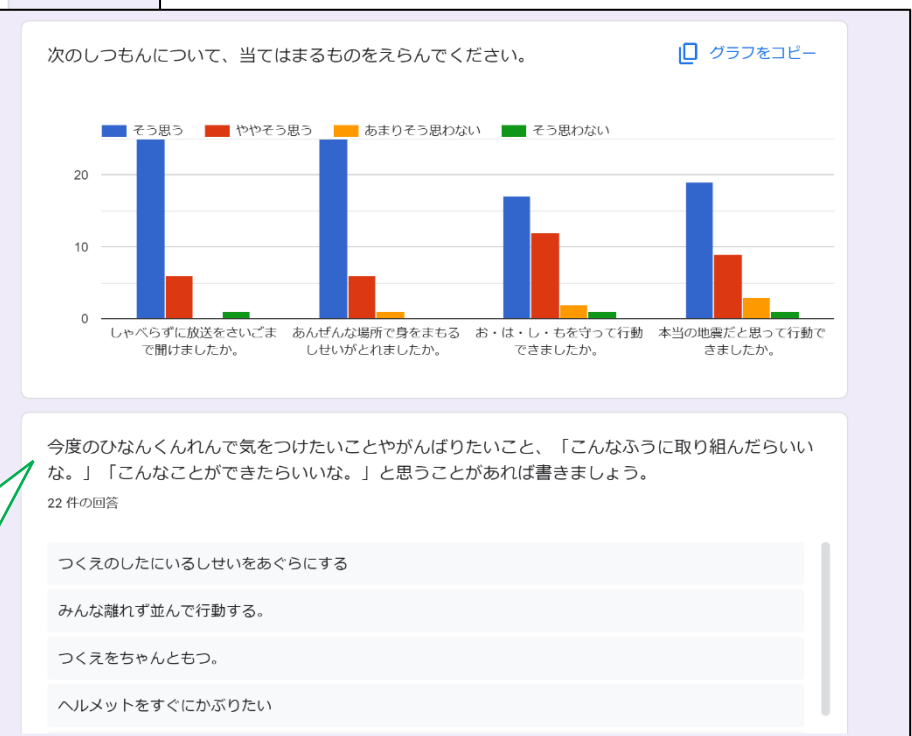
これは、安全装置？です。  
車や、壁に当たりそうな時に  
「ピピピッ」と教えてくれるので安全です

【取組内容】 アンケート結果の収集と分析

本年度は避難訓練の振り返りをアンケート機能を使っておこなった。全校一斉におこなうことで収集や分析も容易となり、教師の負担が軽減された。今後、生活リズムをチェックするカードや週案等もGIGA環境を活用することで校務DX化が図れるのではないかと考える。



アンケートの結果を見ると、よかったところだけでなく、「次はヘルメットをスムーズにかぶりたい」「玄関から出るか扉から出るか判断したい」と自分事としてとらえ、訓練に臨めている児童が多くいることもわかった。それを受けて教職員間では、今後、事前に予告をしない訓練や傷病者がいる場合を想定しておこなう必要があるという話し合いをした。

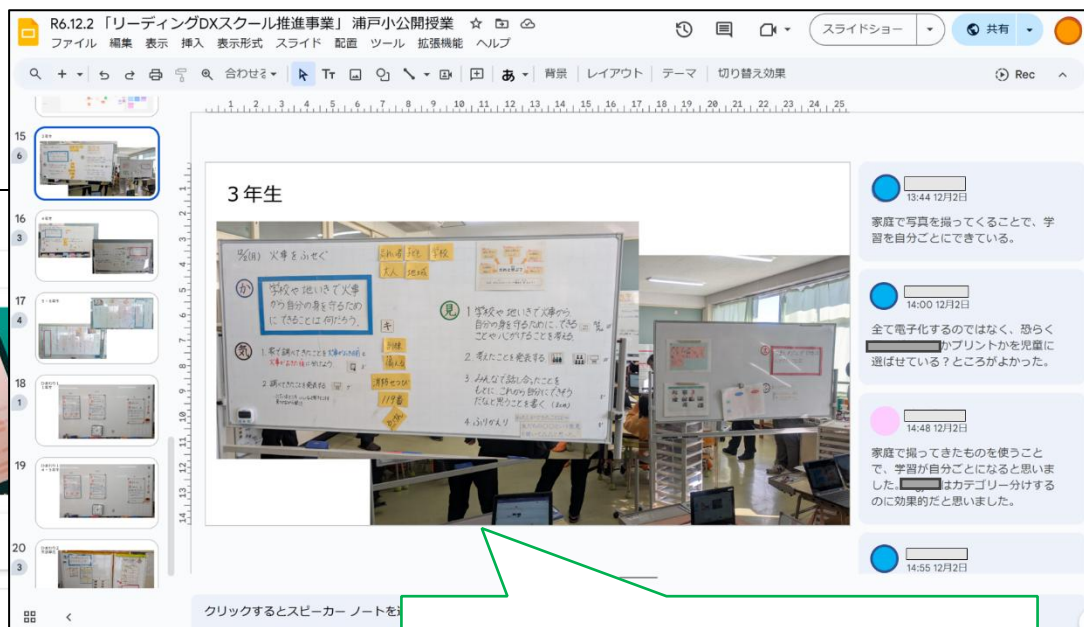


# リーディングDXスクール事業【実践事例】

高知市立浦戸小学校（高知県）【指定校】

## 【取組内容】 教員間の情報伝達・情報共有

教職員用のクラスに行事予定や伝達の必要な情報を掲載することで、誰もがいつでも即座に確認することができる。また、研究授業後の討議は、プレゼンテーション資料作成のソフトウェアを活用している。紙媒体での印刷等が不要となり、校務のDX化を図ることもできている。



リーディングDXスクール事業における公開授業でも取り組んだ。学校外から参加していただいた先生方にも、コメントで感想を送っていただいた。